

第4回震災遺構検討会議（旧門脇小学校校舎） 概要

日 時：平成29年1月18日（水） 午後6時～午後8時

会 場：石巻市役所6階 第3・4議会委員会室

概 要：

- (1) これまでの「震災遺構検討会議（旧門脇小学校校舎）」の振り返りについて
 - ・第1～3回「震災遺構検討会議（旧門脇小学校校舎）」で出された意見等について確認した。
- (2) 震災遺構（旧門脇小学校校舎）の整備等に関する協議について
 - ・協議テーマ案「旧校舎の公開あり、公開なし」や「特別教室、体育館、校庭を含めた周辺環境の整備方針等」について意見を交換した。

会議での主な意見

- ・実物を見せたいが、中に入ると今の状態が壊されてしまう。なるべく多くの部分を残して外から見せる。
- ・中に入った空気感を伝えるには入ってもらいたい。
- ・津波の威力、旧門脇小学校の火災状況を、出来れば大きく保存する。
- ・実際1・2・3階と様子が違うため本来は中に入って見せる。しかし天井が危険なため外から見られるような1・2・3階の見せ方を考え全体を見て欲しい。
- ・全体の被害状況や教室による違いは、外から見せる映像等で見せるなど、隣接した棟から見せるのが良い。
- ・中に入れるのではなく、観察棟などを作ってそこから見てもらうのが良い。
- ・新しい施設を作ることで自らの思い出を繋げていく。
- ・中は危険なため観察棟で外から見る。
- ・校舎は弱っており危険で管理の問題もあるため3階まで一部保存とし、公開なしとする。（外から観察）
- ・特別教室に子育て施設を設ける。
- ・特別教室・体育館も十分に資料・公開の場として使い、その上で地域でも使っていく。
- ・遺構の付帯施設としてしっかり位置づけた上で、副次的に地域で使う。
- ・旧門脇小学校を中心に左右がお墓で真っ暗。明るいイメージにするため、周囲を緑で一杯にする。
- ・特別教室は遺構の関連施設に、体育館は地域の施設という形で分ける。
- ・体育館は公民館の機能を持たせて地域利用する。
- ・カフェ・お土産売り場を設け、人を行き交わせる。
- ・祈念公園や「まねきショップ」と連携し、地域の人とおしゃべりしたり、旧門脇小学校に行ったり、人がまわっていくような形とする。
- ・ビニール袋を使った食事作りなどを、地域の避難訓練に来た人に地域の人が教える。特別教室で教える。
- ・使いたい人が使えるように貸す場所を設ける。
- ・旧門脇小学校の敷地内にかつて有った木を再現したり、防災訓練の場として、グラウンドは広くする。また、歩けない人のことも考えて駐車場を整備する。
- ・グラウンドはグラウンドとして使うのではなく、遺構の前の空間として考える。